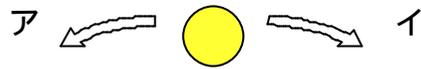


下の月は、現在南の空にあります。月は、その後ア・イのどちらの方向に動くと考えられますか。



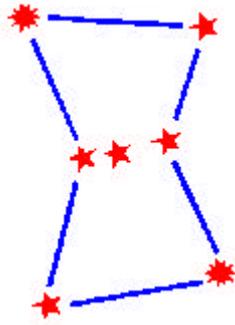
答え()

レディネステスト 天体の動きと地球の自転公転 (解答)

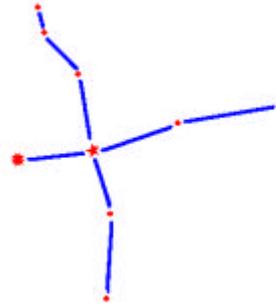
3年 ___ 組 ___ 番 氏名 _____

下の星座の名前を書いてください。

知識・理解



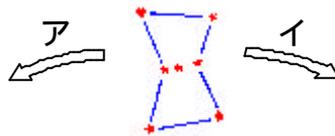
(オリオン座)



(はくちょう座)

下の星座は、現在南の空にあります。この星座は、その後ア・イのどちらの方向に動くと考えられますか。

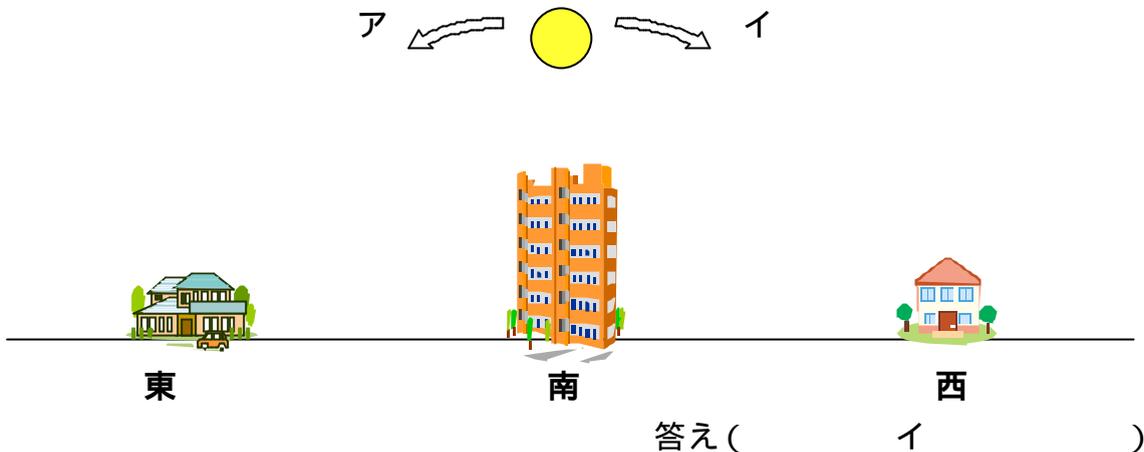
知識・理解



答え (イ)

下の月は、現在南の空にあります。月は、その後ア・イのどちらの方向に動くと考えられますか。

知識・理解



小学校からの系統...小学校4年 C地球と宇宙

「月」 「星の明るさや色」 「星の動き」

授業の手引き

小学校では、月は絶えず動いていること、明るさや色の違う星があること、星座の並び方は変わらないが位置が変わることを学習しています。

中学校では、天体の日周運動の観察記録を地球の自転と関連付けてとらえること、天体の年周運動の観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けてとらえること、太陽系の構造を惑星の公転と関連付けてとらえること、恒星と惑星の特徴などを学習しています。

これらの問題では、天体の見かけの動きについてのレディネスを確認できます。

このレディネスは、中学校での天体の日周運動・年周運動と地球の自転・公転との関係を調べる学習に深くかかわってきます。

ただし、小学校では星が動くという視点で学習が進められているので、中学校では星が動くという視点から地球が動くという視点に考え方を変えなければいけません。

そこで、中学校では天体の見かけの動きをおさえながら、地球の自転・公転の様子をとらえさせていくような授業展開が大切であると考えられます。